

3. 2017 年度活動概要

今年度の CCR 研究会では、これまでの COLT・MOLT による授業分析の手法を用いた研究を踏まえ、『COLT による授業分析の教育的示唆に関する研究』を研究テーマに掲げ、昨年度に行った成果を基に、中学校・高等学校英語教師に対する授業分析の結果を用いたりフレクションに関する研究について取り組んだ。それに伴い、3 か月に 1~2 回ペースでの研究会を開催するとともに、2 度の授業撮影を行い、来年度以降、どのような手法を用いて分析結果を授業改善へと繋げていけるかについての議論を行ってきた。また、北海道教育大学を中心に開発した、授業分析が web 上で行えるオンラインプラットフォーム、CollaVOD (<http://collavod.hokkyodai.ac.jp/>) を利用した遠隔地と結んだインタビュー方法についても検討した。

また、また、2016 年度に行われた JACET 第 55 回国際大会（北星学園大学）において、“Assessing the effectiveness of the COLT scheme as a reflection tool for high school teachers of English” というテーマでの口頭発表を基に論文を執筆し、本年度発行の JACET Selected Papers Vol. 4 に掲載されたことは大きな成果である。

来年度は今年度に引き続き、『COLT による授業分析の教育的示唆に関する研究』を研究テーマに掲げ、本年度記録した授業を基に、中学校・高等学校英語教師に対する授業分析の結果を用いたりフレクションについて、授業改善等の教育的示唆へと応用させる研究を行う予定である。その成果について、北海道支部研究会や来年度の JACET 第国際大会で口頭発表を行うことを検討中である。また、その内容を基に、論文の執筆も計画している。